



落ち葉の季節がやってきました！

3年目にして

今年は、たくさんのカワラノギクが咲きました。一輪で咲くのではなく、一本の茎から枝分かれして、いくつもの花が咲くことが、3年目にして分かりました。

あいにく一斉に咲くといったようにはならず、ひと株ずつ花を咲かせていきました。背面にあるビオトープの草木がだんだんと伸びて行くと、陰になってしまったからでしょうか？

9月になったら日照のことも考えるといいのではないかと思います。

大豆の収穫

今年もたくさん大豆が収穫できました。収穫時期も良かったようで、虫に食べられる事も少なく、2kg近い大豆が取れました。今年も味噌を作るようです。

大豆は、たくさん加工品になります。醤油、豆腐、豆乳が代表的な物ですが、丸ごと全部使うとなると、きな粉や納豆、そして味噌などになります。自分達で育てた大豆です。豆を煮る際の煮汁の一滴までを使うことで、無駄なく美味しい味噌作りをしたいです。今年も2月の仕込みを予定しています。



緑豊かな相川小学校です。秋ともなると、落ち葉の季節がやってきます。正門で毎日、落ち葉掃きをしてくださる地域の方は、この季節になると、大きなビニル袋をいっぱいにして、堆肥場まで運んで来てくれます。その様を見て手伝う子ども達が現れたのです。心が温まる光景です。

集めた落ち葉は、堆肥場へ持っていきます。堆肥場が出来て今年で2回目の秋を迎えました。



たくさんたまると、子ども達が堆肥場に入って、楽しみながら踏みまわります。たくさん落ち葉が入るようにと、葉っぱを分解しやすくするためです。

昨年の落ち葉はよく分解されているところと、落ち葉が残っているところがあったので念入りに踏んでもらいました。どんな腐葉土になるでしょうか？

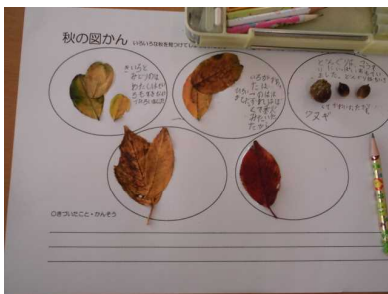


<綿の摘み>



綿の収穫が最盛期となりました。今年もは茶色と白色の綿です。クリスマスリースの材料として、低学年を中心に使いました。

2年生 秋の図鑑



本校にあるたくさん木々は、秋になると、たくさんの実が実り、葉はきれいな紅葉を見せます。2年生は、葉や実を拾って図鑑にしました。どんな葉の特徴があったかな？

玄関には

11月、本校で取れるたくさん収穫物でお客様をお迎えしています。



保護しました！

朝から、校庭でなにやら子ども達が騒いでいるかと思うと、校長先生が網をもって職員室に入って来ました。網の中にいたのは、ムクドリです。ムクドリは、5月の抱卵期になると、本校の柱の空きに巣を作ります。ウズラの卵の大きさと青いタマゴなのが特徴です。ムクドリは、尾羽と左の翼に傷を負っていて飛ぶことができませんでした。早速七沢にある環境保全センターの連絡して保護をお願いしました。しかし、保護した日が月曜日でしたので、つぎの日まで学校で預かる事にしました。学校で実る、柿をあげたり、ミカンをあげたりととても贅沢な相川小での保護期間でした。子ども達も気になって、休み時間には見にきていました。翌日無事、保護センターの預け治療とリハビリをするまでに行くといいですが。